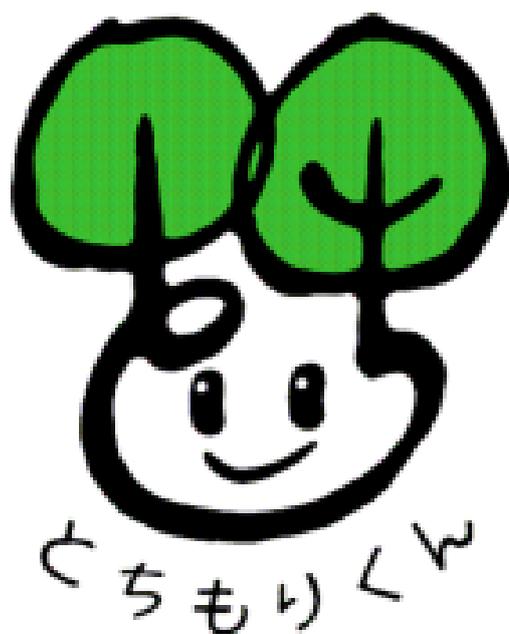


平成24年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



平成25年10月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目 次

● 総合評価	・・・・・・・・・・	p 1
● 平成24年度事業実績概要	・・・・・・・・・・	p 2
1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	・・・・・・・・・・	p 3
2. 明るく安全な里山林整備事業	・・・・・・・・・・	p 5
3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	・・・・・・・・・・	p 7
4. とちぎ森づくり情報センター事業	・・・・・・・・・・	p 9
5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業	・・・・・・・・・・	p10
6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業	・・・・・・・・・・	p11
7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	・・・・・・・・・・	p12
8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業	・・・・・・・・・・	p13
9. 森づくり活動地域支援事業	・・・・・・・・・・	p14
10. 木の香る環境づくり支援事業	・・・・・・・・・・	p15
11. 特色ある緑豊かな地域推進事業	・・・・・・・・・・	p16

(資 料)

● 各事業関係資料	・・・・・・・・・・	p19
● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見	・・・・・・・・・・	p76
● とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿	・・・・・・・・・・	p77

総 合 評 価

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会では、税の使途の透明性・公平性を確保するため、これまで2回の委員会を開催し、平成24年度税事業の執行状況や効果について検証・評価を行ってきた。

その結果を、ここに評価報告書として取りまとめたので、今後とも、この税による森林の公益的機能の維持、増進への取組が、県民の皆様にとってより良いものとなるよう、本報告書に基づき一層推進されることを期待する。

□評価

- 平成24年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

引き続き、「有効性」、「効率性」、「進ちょく度」に十分配慮し、事業の適正な執行に努めること。

平成25年9月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

● 平成24年度事業実績概要

	(計 画 額)	(実 績 額)
(1) 財源	854,118 千円	911,673 千円

	(計 画)	(実 績)
1 とちぎの元気な森づくり基金	847,368 千円	907,302 千円
(内訳) とちぎの元気な森づくり県民税収相当額	847,000 千円	843,173 千円
寄附金	349 千円	1,262 千円
利子	19 千円	19 千円
基金残金	- 千円	62,848 千円
2 国庫補助金	6,750 千円	4,371 千円

	(計 画 額)	(実 績 額)
(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業費	854,118 千円	831,148 千円

(奥山林整備事業の国庫補助金を含む。)

(事業名)	(計 画)	(実 績)	(実績率)
1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	469,956 千円	459,608 千円	[全体事業費に占める率]
(間伐面積) 2,367 ha		2,434 ha	[55.3%]
(獣害対策面積) 200 ha		200 ha	100.0%
(森林バイオマス利用モデル面積) 45 ha		32 ha	71.1%
2 明るく安全な里山林整備事業	249,000 千円	238,336 千円	[28.7%]
(整備面積) 411 ha		417 ha	101.5%
3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	57,320 千円	57,266 千円	[6.9%]
(木製学習用机・椅子配布数) 1,800 セット		1,800 セット	100.0%
(木製ベンチ配布数) 500 基		500 基	100.0%
4 とちぎ森づくり情報センター事業	9,164 千円	9,056 千円	[1.1%]
5 とちぎ森の楽校(がっこう)事業	11,709 千円	9,772 千円	[1.2%]
6 とちぎの元気な森づくり県民会議事業	4,872 千円	4,829 千円	[0.6%]
7 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	2,391 千円	677 千円	[0.1%]
8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業	6,436 千円	5,746 千円	[0.7%]
9 森づくり活動地域支援事業	12,070 千円	11,422 千円	[1.4%]
10 木の香る環境づくり支援事業	30,000 千円	33,236 千円	[4.0%]
11 特色ある緑豊かな地域推進事業	1,200 千円	1,200 千円	[0.1%]

【元気な森づくり】

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・15年以上手入れがされていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行う。
- ・クマやシカなどの獣害から樹木を守るための対策を支援する。
- ・伐採した間伐材をバイオマス資源として利活用する取組を支援する。

・平成24年度実績			
整備面積	間伐	2,434ha (16市町	57箇所)
	獣害対策	200ha (5市町	426箇所)
	森林バイオマス利用モデル	32ha (3市町	5箇所)
決算額	459,608千円		

■評価 (資料p19～45参照)

1 有効性 : 事業によって得られた効果

(1) 間伐〔便益計算〕

- ・163千円/haの森林整備費に対して、洪水防止や土砂流出防止など1,588千円/haの便益が得られたことから、事業の有効性が認められる。

(2) 獣害対策〔アンケート調査〕

- ・防止資材を設置した樹木は99%が「被害なし」であり、森林所有者の今後の森林の適正管理に対する前向きな回答が8割あったことなどから、事業の有効性が認められる。

(3) 森林バイオマス利用モデル〔CO₂削減量計算・アンケート調査〕

- ・32haの事業の実施により、286t-CO₂の排出量を削減するとともに、森林所有者からは「林内が明るくなり、次回の間伐につなげたい」、事業者からは「施工性や引取価格、コストの削減など課題があるが、利用促進路について今後の森林管理に利用でき、大きなメリットとなった」など、今後の森林管理に対する意欲が変化していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性 : 事業に使った経費の度合

(1) 間伐

- ・本県の場合は間伐率が概ね35%であり、作業路の整備を実施しているのに対し、他県は間伐率概ね30%で作業路の整備は実施していないが、本県の1ha当たりの整備費は、他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。

(2) 獣害対策

- ・本県の場合は資材及び資材設置への支援であるのに対し、他県は資材の購入のみへの支援であり、1ha当たりの対象経費は他県よりも高価となっている。しかし、確実に資材を設置することにより被害防止を図り、事業の有効性を高めるため、現在の支援内容による事業実施はやむを得ない。

(3) 森林バイオマス利用モデル

- ・本県の場合は間伐及び間伐木の玉切り・搬出・運搬に対する支援に対し、他県は間伐を含まないが、1ha当たりの対象経費は他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗度 : 計画に対する事業の進みぐあい

- (1) 間伐
 - ・計画面積2,367haに対し、2,434haを整備し、計画を上回る間伐が進んだ。
- (2) 獣害対策
 - ・計画どおり200haを整備した。
- (3) 森林バイオマス利用モデル
 - ・一部の森林バイオマス資源の利用者が事業を休止したため、計画面積45haに対し、32haの整備と計画を下回った。

平成24年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・15年以上手入れがされず機能の低下した2,434haの森林における間伐と、200haの野生獣被害森林への剥皮被害防止対策及び間伐した森林32haから生じた間伐材による森林バイオマス利用の実施により、森林の公益的機能が向上した。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐については、他の森林整備に係る事業と連携しながら、計画面積の達成に向けた取り組みが必要である。 ・獣害対策については、平成25年度に実施する新たな獣害対策手法の効果等を踏まえ、総合的に検討していく必要がある。 ・森林バイオマス利用モデルについては、再生可能エネルギーとしての森林資源の利活用が期待される中、民間の事業ベースによる利用拡大の可能性などを考慮し、県民税事業として行うことに対しては、今後の動向を見極める必要がある。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・身近な里山林を、住民が将来まで守り育てる地域の憩いの場などへ再生することをはじめ、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減したり、生物多様性を保全するために整備する。

・平成24年度実績
整備面積 417ha（全市町 97箇所）
決算額 238,336千円

■評価（資料p46～62参照）

1 有効性

〔アンケート調査〕

- (1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備
 - ・美しい景観になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に95%を超えていることから、事業の有効性が認められる。
- (2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備
 - ・通学時の児童生徒及び住宅地周辺での安全・安心が向上したと思う人が共に90%を超えていることから、事業の有効性が認められる。
- (3) 野生獣被害軽減のための里山林整備
 - ・イノシシなどの野生獣の出没が減った（減りそうだ）と思う人、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った（減りそうだ）と思う人が共に70%に及んだことから、事業の有効性が認められる。一方で、減っていない（減りそうにない）と思う人が15%程度いることから、地域住民が、効果的な森林整備の時期や方法を理解して取り組めるよう支援していくことが必要である。
- (4) 生物多様性モデル林整備
 - ・多様な生き物がすみやすい環境になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に90%を超えていることから、事業の有効性が認められる。
- (5) 提案型里山林整備モデル整備
 - ・地域の里山林の良さに気づききっかけとなった人、自然観察や散策などがしやすくなったと思う人が共に100%であったことから、事業の有効性が認められる。
- (6) 地域住民の意識
 - ・今後、里山林を地域全体で保全していこうと思う人が全ての事業とも90%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・同様の整備を実施している他県と比較すると、1ha当たりの整備費は本県の方が安価となっている。

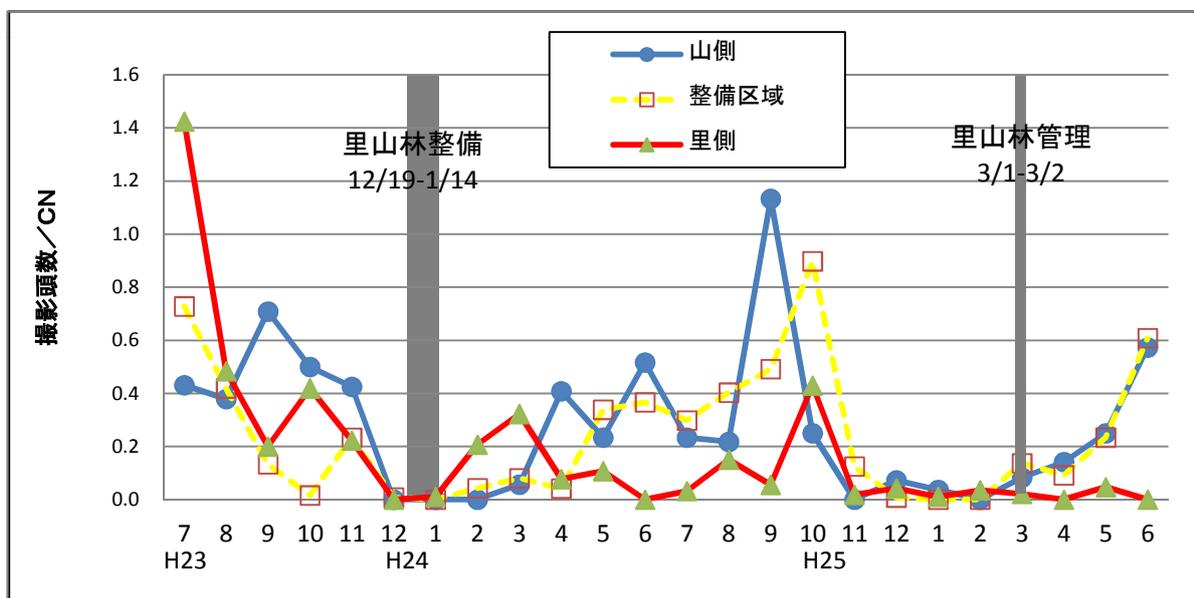
3 進ちよく度

- ・計画面積411haに対し、417haを整備した。

<p>平成24年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備」は計画面積を下回ったものの「将来まで守り育てるとちぎの里山林整備」、「野生獣被害軽減のための里山林整備」、「生物多様性モデル林整備」及び、「提案型里山林整備モデル事業」については、共に計画面積を整備することができ、里山林の持つ公益的機能の向上や、地域の安全・安心の確保が図られた。 アンケート結果によると里山林を地域全体で保全していこうと思っている人の割合が、5事業とも90%を超えており、地域住民が森の大切さに気づき、地域全体で里山林を保全する気運の高まりが見られた。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「野生獣被害軽減のための里山林整備」ではイノシシなどの出没や野生獣の被害が減った（減りそうだ）と答えている人が70%に及んだ一方で、減っていない（減りそうにない）と答えた人も15%以上いる。里山林整備の効果を実感し、地域住民が意欲を持って継続的に管理していくことが重要であることから、事業効果のフォローアップを行うとともに持続的な取組となるよう支援していくことが必要である。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【参考】

里山林整備事業の実施に伴うイノシシ撮影頭数の推移（鹿沼市深程地区）



※撮影頭数/CN：カメラ1台・1日あたりの撮影頭数であり、延べ撮影頭数を有効カメラ作動日数（CN:カメラ日）で割った値

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

■事業の内容・実績

- ・奥山林整備事業で発生した間伐材を活用し、小中学校に木製学習用机・椅子、県民利用施設に木製ベンチを配布する。

・平成24年度実績

配布数	木製学習用机・椅子	1,800セット	(12市町 56校)
	木製ベンチ	500基	(25市町1県有施設 136施設)
決算額	57,266千円		

■評価 (資料p63～64参照)

1 有効性

[アンケート調査]

(1) 木製学習用机・椅子

- ・全ての児童・生徒に対して、本事業の趣旨を説明した(今後する予定を含む)割合が100%に達したこと及び県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思う人の割合が100%に達したことなどから、事業の有効性は認められる。

(2) 木製ベンチ

- ・全ての設置箇所において、パンフレットの配布等、普及啓発活動に取り組んでいること及び全ての設置先事業者が県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思っていることなどから、事業の有効性は認められる。

2 効率性

(1) 木製学習用机・椅子

- ・1セット当たりの事業費は前年度より増加したが、これは、例年に比べて製作費の高い規格の大きな机・椅子の製作数が多かったことなどが理由であり、これを除けば、例年とほぼ同額に抑えられていることから、効率性は確保されている。

(2) 木製ベンチ

- ・1基当たりの事業費は前年度と比較して安価となっており、また、類似事業に取り組んでいる他県との比較でも安価となっていることから、効率性は確保されている。なお、森づくり県民税により奥山林間伐材を活用してベンチを製作・配布しているのは本県だけであった。

3 進捗よく度

(1) 木製学習用机・椅子

- ・計画どおり1,800セットを配布した。

(2) 木製ベンチ

- ・計画どおり500基を配布した。

<p>平成24年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用机・椅子は、森林整備の必要性等の理解・促進について、引き続き県教育委員会及び市町教育委員会と連携して取り組んだ結果、児童・生徒の、より一層の理解促進が図られた。 ・木製ベンチは、県民が直接利用する機会の多い市町の公共施設等に配布したことにより、より一層県民税等の普及啓発活動に広がりを持たせることが出来た。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木材を使用することが、健全な森林の維持に必要であることの理解促進のため、PR効果にも配慮し、継続して事業を実施する必要がある。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの森づくり” ホームページの運営や、森づくり活動のサポートなどを行う。

・ 平成24年度実績
決算額 9,056千円

■評価 (資料 p 65 参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・ ホームページ利用者の8割が、このホームページができて良かった、森づくり活動に役に立っていると考えており、さらに9割が、これからも森づくり活動に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・ 類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1アクセス当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。[H24アクセス件数17,510件 (H23: 15,404件)]

3 進ちょく度

- ・ 計画登録者数250人に対し、ほぼ計画どおりの251人の登録があった。

平成24年度事業の成果	・ 「とちぎ森づくり情報センター」の運営により、県民の森づくり活動をサポートするものである。平成24年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、効率性も確保されていることから、県民の森づくり活動への参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・ 森づくり活動への参加を促すため、引き続き、ホームページの内容の充実を図るとともに、より多くの県民に知ってもらうため、効果的な周知を図る必要がある。
評価	・ 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

■事業の内容・実績

- ・森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図るための体験講座を開催したり、子どもたちの森づくり体験活動や指導者研修を行う。

・平成24年度実績
決算額 9,772千円

■評価 (資料p67～68参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- (1) 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」参加者
・ほぼ全ての参加者が、この講座によって森づくりの理解が深まり、今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動に取り組みたいと考えていることから、事業の有効性が認められる。
- (2) 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者
・ほぼ全ての参加者が、この事業を子どもたちに役立つ取組と感じ、今後も森林環境学習に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。
- (3) 「森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者
・9割以上の方が、このイベントに参加して楽しかったと感じており、とちぎの元気な森づくり県民税でこのイベントが行われてよかったと思う人が93%に達したことから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり体験講座を20回実施し、20団体に支援を行った。
[H24参加者数5,210名(H23:4,722名)]

平成24年度事業の成果	・県民の森林の大切さ等に対する理解を促進し、県民参加の森づくり活動を推進することを目的に各種講座や研修等を実施するものである。平成24年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、県民の森づくり活動等の参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・本事業についての周知をさらに図るとともに、受講者のニーズに合わせ講座内容を工夫し、より多くの県民の参加を促進する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの元気な森づくり” の推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」において、森づくり体験活動など、森や木に親しみ、森を知る身近な活動を行う。

・平成24年度実績
決算額 4,829千円

■評価 (資料p69参照)

◇木の教育資材開発提供事業

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 児童

- ・ 9割以上の児童が、ほかにも木を使って工作したり、木でできたものを使いたいと思うと回答していることから、事業の有効性は認められる。

(2) 教諭

- ・ 回答したほとんどの教諭が、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じていることなどから、事業の有効性は認められる。

2 効率性

- ・ 資材1セット当たりの事業費は、前年度とほぼ同額となっていることから、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・ 計画どおり、1,300セットを配布した。

平成24年度事業の成果	・ 子どもたちに木にふれあう機会を創出することによって、森林の大切さや森林整備の必要性について理解促進を図るため、小学校に木工工作の教材を配布し、木づかいスタッフ等の指導のもと木工体験活動に取り組んだ結果、木の良さや木を使うことの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・ より多くの児童に、木の良さや木を使うことの大切さを啓発するため、多くの小学校で取り組まれるよう、継続して事業を実施する必要がある。
評価	・ 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

■事業の内容・実績

- ・事業の執行状況や効果等について検証・評価を行うとともに、事業の推進に必要な事項を検討する。

・平成24年度実績
決算額 677千円

■評価 (資料p70参照)

1 有効性

- ・平成23年度のとちぎの元気な森づくり県民税事業の評価を行い、改善すべき点について報告書にとりまとめ県に提出した。それを受けて以下の点において改善が図られた。
 - インターネットを活用した効果的な広報活動を実施するため、ホームページ「とちぎの森づくり」の機能を改善した(H25～)

2 効率性

- ・委員数や開催回数が近い他県と比較すると、委員会1回当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・平成23年度に実施した税事業の評価を行った。
 - 評価委員会開催等経過
 - H24. 7. 5 第1回評価委員会現地調査実施 市貝町、茂木町
 - H24. 8. 9 第2回評価委員会：平成23年度事業の評価
 - H24. 10. 5 評価報告書の提出・公表

このほか、「とちぎの元気な森づくり県民税事業見直し検討会」を計5回開催し、平成24年12月4日に同検討会から第2次報告書が提出された。

平成24年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none">・平成23年度事業の評価を行い、その結果を公表した。・平成23年度事業の評価を受け、平成25年度事業では、ホームページ「とちぎの森づくり」をより見易くするほか、メールマガジンやフェイスブック機能を追加した。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none">・事業の検証・評価を通して明らかになった課題などを次年度以降の事業に生かしていく。
評価	<ul style="list-style-type: none">・当該事業は、概ね効果的、効率的に実施され、適正な運営が行われた。

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの元気な森づくり” の趣旨や事業内容等について広報活動を行う。

・ 平成24年度実績
決算額 5,746千円

■評価 (資料p71参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・ 税の認知度について、アンケート調査によると少なくとも名称は知っているという回答者が73.4%に達したことから、一定の事業の有効性が認められる。(H23:63.8%)
- ※なお、調査は、県の環境森林関係イベントで実施しており、環境森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測され、無作為抽出方法で実施したH24県政世論調査においては、少なくとも名称は知っている回答者は40.5%にとどまっている。

2 効率性

- ・ 本県と広報事業内容が類似する他県と比較すると、本県の方が納税義務者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性が認められる。

3 進ちょく度

- ・ パンフレット作成65,000部、テレビ・ラジオ102回、税事業実施箇所バスツアー4回とほぼ計画どおり実施したことに加え、新聞広告の実施、アンテナショップでのPRイベントなど新たな手法による広報を実施した。

平成24年度事業の成果	・ イベント等でのパンフレット配布やテレビ・ラジオ等の広報を通じて、とちぎの元気な森づくり県民税の趣旨や事業内容等の県民理解の促進を図り、一定の成果を維持している。
今後に向けた課題	・ 県民税の名称のみならず事業の内容や整備による効果についても理解を深めてもらうため、引き続き各種イベントや広報等において、写真やデータを使うなど、効果的な広報活動を実施する。
評価	・ 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う、住民やボランティアを対象とした森づくり活動、子どもたちの森林環境学習などを支援する。

・平成24年度実績
決算額 11,422千円

■評価 (資料 p 72 参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・実施した市町の全てが、この事業が森づくり行政や森林環境教育行政に役立ち、今後もこの事業を積極的に活用すると考え、とちぎの元気な森づくり県民税でこの事業が行われたことは良かったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、事業を実施した1団体当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画18市町のうち1市町において実施団体が事業を取りやめたため、計画数を下回る実績となった。

平成24年度事業の成果	・アンケート調査では、全ての市町が事業の有効性について評価しており、森林の大切さへの理解促進が図られた。
今後に向けた課題	・実際に森林に触れ体験できる取組は、県民に森林の大切さの理解促進を図る上で有効であることから、引き続き事業を実施していくとともに、実施取組数の拡大を図る。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う公共施設等の木造・木質化や地域における木の良さ普及啓発活動などを支援する。

・平成24年度実績
決算額 33,236千円

■評価 (資料p73参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・すべての市町から、この事業が環境森林行政に役立ったとの回答を得ていることなどから、事業の有効性は認められる。

2 効率性

- ・施設整備事業については、木材1m³あたりの事業費は、前年度とほぼ同額となっており、効率性は確保されている。
- ・木の良さ普及啓発事業については、参加者1人当たりの事業費は、前年度とほぼ同額となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、木の良さ普及啓発活動142回などを実施した。

平成24年度事業の成果	・木を使い、木に触れることを通じて森林整備の必要性について理解促進を図るため、18市町に対して施設整備事業（木造・木質化）、間伐材有効利用事業及び木の良さ普及啓発事業の支援を行った結果、木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について理解が深まった。
今後に向けた課題	・木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について、より一層の理解促進が図られるよう、今後も事業を継続していく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

1 1. 特色ある緑豊かな地域推進事業

■事業の内容・実績

- ・広域的な森づくり活動など、地域の創意工夫を凝らした特色ある取組を支援する。

・平成24年度実績
決算額 1,200千円

■評価 (資料p74参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・参加者の9割以上が、この活動により森づくりについての理解が深まり、今後も森づくり活動に取り組みたいと考え、「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われて良かったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、2市町で実施した。

平成24年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者の9割が事業の有効性について評価しており、地域住民や都市住民などが共に参加する森づくりが促進されるとともに、森づくりや身近なみどりを守り育てることの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・地域の特性に合わせた取組が可能であることから、地域の発意による独自性のある取組の拡大に努める必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

(資 料)

【元氣な森づくり】

1. とちぎの元氣な森づくり奥山林整備事業

1 有効性

(1) 間伐：便益計算

便益区分	評価額 (千円) A	整備面積 (ha) B	ha当たり評価額 (千円/ha) A/B	備 考
○洪水防止便益	1,448,452	2,434	595	整備による降雨流出量減少分を治水ダムで機能代替させる場合のコスト
○水質浄化便益	827,806		340	整備による土壌内浸透降雨増加量を施設により浄化する場合のコスト
○土砂流出防止便益	1,589,593		653	整備による低減される土砂流出量を保全する砂防ダム建設コスト
計	3,865,851	2,434	1,588	

※評価額は「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき算出

(2) 獣害対策：アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	野生獣による剥皮被害を防止する対策を実施した森林の所有者 73名
【実施時期】	平成25年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 72名	
1 今回実施した獣害対策により、森林の被害状況はどう変化しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・防止資材を設置した樹木： 「被害なし」99%、 「被害あり」1%（被害率5%） ・防止資材未設置の樹木： 「被害なし」51% 「被害あり」49%（被害率5～40%）
2 獣害対策の実施によって、野生獣による森林被害は減ると思いますか。	「非常に減ると思う」47%、「少し減ると思う」43%、「あまり減るとは思わない」0%、「わからない」10%
3 今後獣害対策を実施した森林を適切に管理していこうと思いますか。	「そう思う」46%、「ある程度思う」35%、「思わない」2%、「わからない」17%
4 とちぎの元氣な森づくり県民税により、奥山林の獣害対策が実施されて良かったと思いますか。	「とても良かった」47%、「良かった」45%、「良くなかった」0%、「わからない」8%

(3) 森林バイオマス利用モデル：CO₂削減量計算・アンケート調査

① CO₂削減量計算

利用区分	計算式	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
発電用に利用 (石炭の代替)	$\text{間伐材等使用量}(t) \times (1 - \text{含水率}(\%) / 100) \times \text{発熱量}(GJ/t) \times \text{CO}_2\text{排出係数} \times \text{ボイラー効率比}$ $186.0 \times 0.8 \times (1 - 50 / 100) \times 20 \times 0.0913 \times 1.0$	136
ボイラ熱源用材 (A重油の代替)	$\text{間伐材等使用量}(t) \times (1 - \text{含水率}(\%) / 100) \times \text{発熱量}(GJ/t) \times \text{CO}_2\text{排出係数} \times \text{ボイラー効率比}$ $270.0 \times 0.8 \times (1 - 50 / 100) \times 20 \times 0.0693 \times 1.0$	150
計		286

※間伐材等使用量(t)は搬出材積(m³)に換算係数0.8を乗じて算出した。

[発電用:間伐面積17ha(搬出材積186m³)、ボイラ熱源用:間伐面積15ha(搬出材積270m³)]

※利用した森林バイオマス資源をすべて電力の代替と仮定した場合、約175,000kwh分を発電、一般的な家庭49戸での年間電力消費量に相当。

② 今後の森林管理に対するアンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森林バイオマス利用モデルを実施した森林整備事業体及び実施箇所の森林所有者 22名
【実施時期】	平成25年7月
【調査結果】 アンケート対象 17名	
森林所有者	・林内が明るくなった。次回の間伐につなげたい。
森林整備事業体	・利用促進路について、今後の森林管理や搬出間伐等に利用できるの大きなメリットとなった。
	・細い木や曲がり木が多く、造材・搬出に手間がかかるなど、施工性や採算性に関し様々な改善が必要。

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
間伐	2,284	348,612	2,363	342,257	145
利用間伐	38	16,796	39	18,024	462
森林バイオマス利用モデル	45	15,435	32	10,737	336
事業推進費		26,113		25,590	
間伐実施 計	2,367	406,956	2,434	396,608	163
獣害対策	200	63,000	200	63,000	315

※森林バイオマス利用モデル事業及び整備事業合計の予算額及び決算額は、国庫補助金を含む。

〔効率性に関する比較検討〕

(1) 間伐

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	163 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・本数率で概ね35%の間伐を実施 ・必要に応じ林内整理 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な歩道整備
A県	250 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・本数率で30%以上の間伐実施 ・間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・①森林現況調査 ②間伐
B県	239 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・本数率で30%以上の間伐を実施 ・間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・①森林現況調査 ②間伐

(2) 獣害対策

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	315 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・1haあたり600本以上の獣害対策資材の設置 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・獣害対策資材(ネット)の設置経費
C県	168 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・1haあたり500本以上の獣害対策資材の設置 (設置本数に応じた4区分の単価設定) 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・獣害対策資材(ネット)購入に対する経費

(3) 森林バイオマス利用モデル

比較県	効率性	特 記 事 項	
栃木県	336 (千円/ha)	【整備内容】	・ 間伐及び間伐木の玉切り・搬出・運搬
		【事業対象経費】	・ 間伐、間伐材の玉切り・搬出・運搬、利用促進路整備に対する経費
D県	399 (千円/ha)	【整備内容】	・ 間伐木の玉切り・搬出・運搬
		【事業対象経費】	・ 間伐木の玉切り・搬出・運搬に対する経費

3 進捗よく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗よく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
間伐	2,284	348,612	2,363	342,257	103.5	98.2
利用間伐	38	16,796	39	18,024	102.6	107.3
森林バイオマス利用モデル	45	15,435	32	10,737	71.1	69.6
事業推進費		26,113		25,590		98.0
間伐実施 計	2,367	406,956	2,434	396,608	102.8	97.5
獣害対策	200	63,000	200	63,000	100.0	100.0

平成24年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市西大芦1	H24. 8. 10 ~ H24. 12. 4	スギ・ヒノキ	28 ~ 60	20 ~ 30	62.86	10,238	163	
2	鹿沼市西大芦2	H24. 9. 24 ~ H25. 2. 8	スギ・ヒノキ	20 ~ 60	20 ~ 30	83.28	13,492	162	
3	鹿沼市西大芦外	H24. 11. 9 ~ H25. 3. 8	スギ・ヒノキ	20 ~ 60	25 ~ 30	75.53	11,114	147	
4	鹿沼市菊沢1	H24. 8. 1 ~ H24. 10. 15	スギ・ヒノキ	37 ~ 60	20 ~ 30	22.60	2,697	119	
5	鹿沼市菊沢2	H24. 8. 22 ~ H24. 10. 15	スギ・ヒノキ	27 ~ 59	20 ~ 35	19.53	2,315	119	
6	鹿沼市粕尾・粟野	H24. 11. 12 ~ H25. 1. 15	スギ・ヒノキ	29 ~ 59	30	21.04	2,730	130	
7	鹿沼市粕尾・清洲	H24. 10. 10 ~ H24. 12. 18	スギ・ヒノキ	32 ~ 59	30	23.82	3,413	143	
8	鹿沼市加蘇	H24. 8. 22 ~ H25. 3. 14	スギ・ヒノキ	16 ~ 59	25 ~ 30	118.95	15,230	128	交付金
9	鹿沼市永野外	H24. 8. 22 ~ H25. 2. 28	スギ・ヒノキ	17 ~ 60	20 ~ 35	197.38	23,207	118	交付金
10	鹿沼市粟野	H24. 8. 22 ~ H25. 2. 28	スギ・ヒノキ	34 ~ 54	20 ~ 35	10.79	1,209	112	交付金
11	鹿沼市粟野外	H24. 8. 22 ~ H25. 3. 13	スギ・ヒノキ	33 ~ 60	25	23.13	2,501	108	交付金
小計						658.91	88,146	134	
【日光市】									
1	日光市栗山7	H24. 7. 24 ~ H24. 10. 15	スギ・ヒノキ	25 ~ 60	25 ~ 35	22.89	2,898	127	
2	日光市栗山8	H24. 9. 25 ~ H24. 12. 17	スギ・ヒノキ	19 ~ 56	25 ~ 35	41.96	4,872	116	
3	日光市栗山9	H24. 10. 15 ~ H24. 12. 14	スギ・ヒノキ	33 ~ 56	25 ~ 30	33.52	4,032	120	
4	日光市藤原3	H24. 8. 20 ~ H24. 10. 25	スギ・ヒノキ	24 ~ 60	20 ~ 35	20.91	2,690	129	
5	日光市藤原4	H24. 9. 11 ~ H25. 1. 15	スギ・ヒノキ	27 ~ 60	20 ~ 35	62.01	7,295	118	【抽出箇所①】
6	日光市藤原5	H24. 10. 15 ~ H24. 12. 10	スギ・ヒノキ	29 ~ 58	20 ~ 35	16.32	2,216	136	
7	日光市日光1	H24. 8. 24 ~ H24. 11. 30	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	20 ~ 35	42.44	5,019	118	
8	日光市日光2	H24. 11. 16 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 59	20 ~ 35	88.01	11,093	126	
9	日光市今市3・豊岡5	H24. 10. 25 ~ H25. 2. 20	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	20 ~ 35	60.41	7,738	128	
小計						388.47	47,853	123	
【宇都宮市】									
1	宇都宮市後山外	H24. 7. 4 ~ H24. 10. 25	スギ・ヒノキ	19 ~ 60	20 ~ 30	30.82	3,552	115	【抽出箇所②】
【市貝町】									
1	市貝町南谷津外	H24. 10. 2 ~ H24. 12. 10	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	20 ~ 30	22.15	2,888	130	
【茂木町】									
1	茂木町茂木・逆川	H24. 11. 9 ~ H25. 2. 28	スギ・ヒノキ	18 ~ 60	20 ~ 30	53.44	5,876	110	
2	茂木町中川・須藤	H24. 12. 20 ~ H25. 3. 19	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	20 ~ 30	18.21	2,112	116	
3	茂木町逆川	H24. 12. 20 ~ H25. 3. 27	スギ・ヒノキ	31 ~ 60	30	6.46	818	127	交付金
小計						78.11	8,806	113	

平成24年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【大田原市】									
1	大田原市須賀川	H24. 11. 6 ~ H25. 3. 14	スギ・ヒノキ	19 ~ 60	30	77.98	12,898	165	
2	大田原市両郷	H24. 9. 13 ~ H25. 1. 31	スギ・ヒノキ	17 ~ 60	25 ~ 35	113.39	19,530	172	【抽出箇所③】
3	大田原市黒羽	H25. 2. 22 ~ H25. 3. 14	スギ・ヒノキ	37 ~ 48	30	3.80	556	146	交付金
小計						195.17	32,984	169	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市高林	H24. 10. 17 ~ H25. 1. 31	スギ・ヒノキ	19 ~ 60	20	101.03	12,915	128	
2	那須塩原市箒根外	H24. 12. 28 ~ H25. 3. 21	スギ・ヒノキ	16 ~ 59	30	29.10	4,716	162	交付金
小計						130.13	17,631	135	
【那須町】									
1	那須町伊王野外	H24. 10. 5 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 56	35	198.97	33,666	169	交付金
【那須烏山市】									
1	那須烏山市境	H24. 10. 2 ~ H25. 2. 8	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	30	38.75	6,609	171	
2	那須烏山市大木須	H24. 12. 28 ~ H25. 3. 21	スギ・ヒノキ	16 ~ 54	30	24.73	3,721	150	交付金
小計						63.48	10,330	163	
【那珂川町】									
1	那須烏山市境(那珂川町分)	H24. 10. 2 ~ H25. 2. 8	スギ・ヒノキ	21 ~ 60	30	27.59	4,650	169	
2	那珂川町大山田外	H24. 12. 28 ~ H25. 3. 21	スギ・ヒノキ	17 ~ 57	30	77.61	11,776	152	交付金
小計						105.20	16,426	156	
【足利市】									
1	足利市葉鹿	H24. 9. 6 ~ H25. 1. 10	スギ・ヒノキ	32 ~ 60	30	10.00	1,581	158	【抽出箇所④】
【栃木市】									
1	栃木市熊下外	H24. 1. 8 ~ H25. 3. 21	スギ・ヒノキ	31 ~ 60	20 ~ 35	29.53	4,152	141	
2	栃木市寺尾	H24. 12. 20 ~ H25. 3. 22	スギ・ヒノキ	37 ~ 56	30 ~ 35	32.72	4,985	152	交付金
小計						62.25	9,137	147	
【佐野市】									
1	佐野市大仏	H24. 7. 11 ~ H24. 10. 10	スギ・ヒノキ	30 ~ 60	30 ~ 35	18.09	3,211	178	
2	佐野市小黒沢	H24. 8. 23 ~ H24. 11. 30	スギ・ヒノキ	18 ~ 60	20 ~ 35	41.10	6,087	148	
3	佐野市稲荷沢	H24. 9. 6 ~ H25. 1. 18	スギ・ヒノキ	24 ~ 60	20 ~ 30	56.18	8,756	156	
4	佐野市曲ヶ手大窪	H24. 10. 10 ~ H25. 1. 25	スギ・ヒノキ	28 ~ 60	25 ~ 35	38.50	6,337	165	
5	佐野市梅木沢	H24. 11. 21 ~ H25. 2. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	25 ~ 35	46.66	7,284	156	
6	佐野市小皿窪	H24. 12. 11 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 58	25 ~ 35	28.59	5,181	181	
7	佐野市氷室	H24. 12. 20 ~ H25. 3. 22	スギ・ヒノキ	25 ~ 60	30 ~ 35	38.21	6,019	158	交付金
8	佐野市田沼	H24. 12. 25 ~ H25. 3. 11	スギ・ヒノキ	20 ~ 52	30 ~ 35	9.36	1,557	166	交付金
小計						276.69	44,432	161	

平成24年度奥山林整備事業一覧【間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【矢板市】									
1	矢板市矢板外	H24. 11. 1 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 58	25 ~ 35	37.77	6,578	174	交付金
【さくら市】									
1	さくら市・塩谷町(さくら市分)	H24. 9. 26 ~ H25. 1. 11	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	20 ~ 35	9.43	1,930	205	【抽出箇所⑤】
2	さくら市喜連川外	H24. 11. 1 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 56	20 ~ 35	26.71	5,284	198	交付金
小計						36.14	7,214	200	
【塩谷町】									
1	さくら市・塩谷町(塩谷町分)	H24. 9. 26 ~ H25. 1. 11	スギ・ヒノキ	36 ~ 58	35	10.52	1,938	184	
2	塩谷町玉生外	H24. 11. 1 ~ H25. 3. 15	スギ・ヒノキ	16 ~ 60	25 ~ 35	57.86	8,331	144	交付金
小計						68.38	10,269	150	
【その他】									
1	事務費						764		職員旅費、消耗品費
県合計(a)						2,362.64	342,257	145	
事業計画(b)						2,284.00	348,612	153	
進捗度(a)／(b) %						103%	98%		

平成24年度奥山林整備事業一覧【利用間伐】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
1	鹿沼市加蘇	H24. 10. 29 ~ H24. 12. 3	スギ	37 ~ 50	20 ~ 25	2.96	1,189	402	
2	日光市篠井1	H24. 11. 1 ~ H24. 12. 25	スギ・ヒノキ	43 ~ 54	25	5.63	2,207	392	
3	茂木町神井	H24. 10. 2 ~ H24. 12. 17	ヒノキ	30 ~ 52	30	7.19	3,765	524	
4	大田原市木佐美	H24. 10. 9 ~ H25. 1. 10	スギ・ヒノキ	40 ~ 51	30	8.01	3,111	388	
5	足利市葉鹿	H24. 9. 6 ~ H25. 1. 10	スギ・ヒノキ	32 ~ 59	30	8.15	3,478	427	
6	塩谷町塩谷外	H24. 9. 26 ~ H25. 1. 11	スギ・ヒノキ	46 ~ 52	27 ~ 30	7.00	4,274	611	
【その他】									
1	事務費								職員旅費、消耗品費
県合計(a)						38.94	18,024	463	
事業計画(b)						38.00	16,796	442	
進捗度(a)／(b) %						102%	107%		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	日光市 藤原4	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	27～60年生
事業概要	事業内容	間伐 62.01ha	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率 20～35%			
	事業費	7,295,400円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査 (H24/7月撮影)</p> 		
					
【事業完了後】					
		<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査 (H25/6月撮影)</p> 			
<p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>					

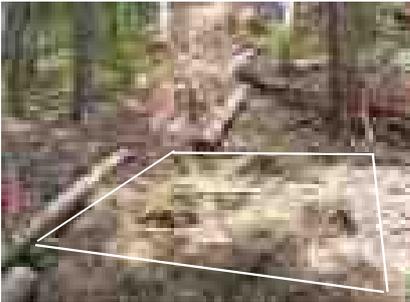
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	宇都宮市 後山外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	19～60年生
事業概要	事業内容	間伐 30.82ha	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草のない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 20～30%			
	事業費	3,552,150円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
		【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/8月撮影) 			
					
【事業完了後】					
	【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H25/6月撮影) 				
間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。					

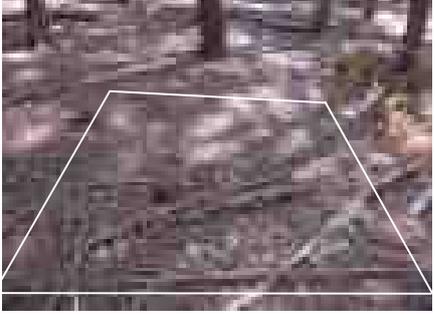
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 両郷	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～60年生
事業概要	事業内容	間伐 113.39ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 25～35%			
	事業費	19,530,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/6月撮影) 		
					
【事業完了後】					
		【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H25/6月撮影) 			
		間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生がわずかに回復してきている状況である。			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	足利市 葉鹿	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	32～60年生
事業概要	事業内容	間伐 10.00ha	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内に入る光の量が限られ、下草がまばらにしか見られない状況にある。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率 30%			
	事業費	1,581,300円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H24/6月撮影)</p> 		
					
【事業完了後】					
		<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H25/7月撮影)</p> 			
		<p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	さくら市・塩谷町 (さくら市分)	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 9.43ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 20～35%			
	事業費	1,929,900円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H24/8月撮影) 		
		【事業完了後】			
		【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H25/6月撮影) 			
		間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生がわずかに回復してきている状況である。			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成23年度抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県		
箇所所在地	日光市 今市2・豊岡4	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～60年生	
事業概要	事業内容	間伐 61.13ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。		
		間伐率 20～35%				
	事業費	7,409,850円				
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H23/8月撮影)		
						
	【事業完了後】			○下層植生調査(H24/7月撮影)		
					○下層植生調査(H25/6月撮影)	 間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。
	【H25/6月】					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成23年度抽出箇所②】

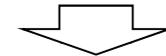
事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	宇都宮市 町田外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～60年生
事業概要	事業内容	間伐 37.77ha	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草のない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 20～30%			
	事業費	4,273,500円			

【事業着手前】



【モニタリング調査】

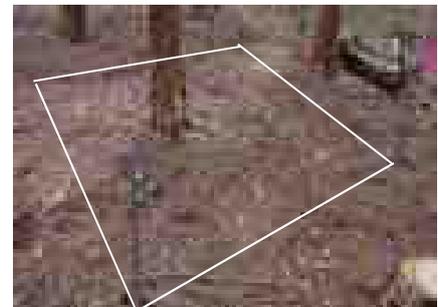
○下層植生調査(H23/8月撮影)



【事業完了後】



○下層植生調査(H24/6月撮影)



【H25/6月】



○下層植生調査(H25/6月撮影)



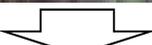
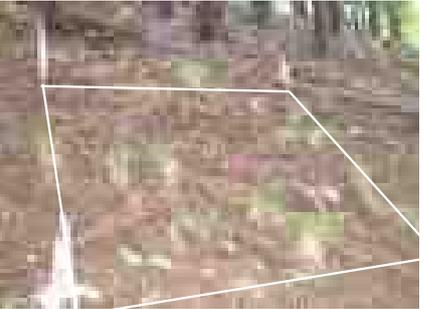
間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。

事業の実施状況

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成23年度抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 両郷1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～60年生
事業概要	事業内容	間伐 54.66ha	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率 25～35%			
	事業費	8,484,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】		
			○下層植生調査(H23/6月撮影) 		
	↓		○下層植生調査(H24/6月撮影) 		
	【事業完了後】 		↓ ○下層植生調査(H25/6月撮影) 		
↓		<p>間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>			
【H25/6月】 					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成23年度抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	佐野市 中山	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	29～59年生
事業概要	事業内容	間伐 27.75ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内に入る光の量が限られ、下草がまばらにしか見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 30%			
	事業費	4,189,500円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H23/6月撮影)	
					
	【事業完了後】			○下層植生調査(H24/7月撮影)	
					
	【H25/7月】			○下層植生調査(H25/7月撮影)	
				間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成23年度抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	矢板市 矢板1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～44年生
事業概要	事業内容	間伐 17.26ha	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 35%			
	事業費	4,515,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】		
			○下層植生調査(H23/8月撮影) 		
	↓		○下層植生調査(H24/7月撮影) 		
	【事業完了後】		○下層植生調査(H25/7月撮影) 		
↓		間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。			
【H25/7月】					

平成24年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 市町別獣害対策実施一覧

所管事務所	No.	市町名	対策実施箇所数	実施面積計(ha)	本数被害率	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	実施面積(ha)	備 考
県西環境森林事務所	1	日光市	176	70.00	20~30%	佐下部(旧今市市)	32	日光市森林組合	23.93	
						土呂部・黒部・日向・湯西川(旧栗山村)	144		46.07	
	2	鹿沼市	154	70.00	10~15%	東大芦・西大芦・加蘇・南摩(旧鹿沼市)	77	鹿沼市森林組合	35.00	
						永野・粕尾(旧栗野町)	77	栗野森林組合	35.00	【抽出箇所①】
		小計	330	140.00		330		140.00		
県北環境森林事務所	3	那須塩原市	2	2.00	7%	高林(旧黒磯市)	2	那須塩原市森林組合	2.00	【抽出箇所②】
		小計	2	2.00			2		2.00	
県南環境森林事務所	4	佐野市	90	54.00	10%	氷室(旧葛生町)	84	みかも森林組合	49.90	【抽出箇所③】
						飛駒・野上(旧田沼町)	6		4.10	
		小計	90	54.00			90		54.00	
矢板森林管理事務所	5	塩谷町	4	4.00	7~10%	玉生	2	たかはら森林組合	3.00	【抽出箇所④】
						船生	2	高原林産企業組合	1.00	
		小計	4	4.00			4		4.00	
合 計			426	200.00	7~30%		426		200.00	

○事業主体別獣害対策実施面積

No.	事業主体名	獣害対策実施面積(ha)	交付金交付額(千円)
1	日光市森林組合	70.00	22,050
2	鹿沼市森林組合	35.00	11,025
3	栗野森林組合	35.00	11,025
4	那須塩原市森林組合	2.00	630
5	みかも森林組合	54.00	17,010
6	たかはら森林組合	3.00	945
7	高原林産企業組合	1.00	315
	計	200.00	63,000

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

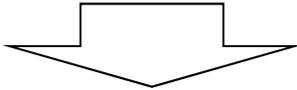
事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)		事業主体	栗野森林組合	
箇所所在地	鹿沼市 永野	樹種	スギ	加害獣 被害率	クマ 10%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の鹿沼市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	0.67ha			
	事業費	211,050円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
	 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: right;">【獣害対策完了後】</p> 				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	那須塩原市森林組合
箇所所在地	那須塩原市 高林	樹種	ヒノキ	加害獣 被害率	クマ 7%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の那須塩原市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	1.00ha			
	事業費	315,000円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
	  				

【獣害対策完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	みかも森林組合
箇所所在地	佐野市 氷室	樹種	スギ	加害獣	クマ
				被害率	10%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の佐野市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	1.22ha			
	事業費	384,300円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
	  				
					【獣害対策完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	たかはら森林組合
箇所所在地	塩谷町 玉生	樹種	ヒノキ	加害獣 被害率	クマ 10%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象町の塩谷町の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	2.00ha			
	事業費	630,000円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
					
					

平成24年度奥山林整備事業一覧【森林バイオマス利用モデル】

所管事務所	No.	所在地	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	樹種	林齢(年生)	間伐率(%)	整備面積(ha)	利用促進路(m)	交付金交付額(千円)	備考
県西環境森林事務所	1	鹿沼市	板荷地区	1	上板荷生産森林組合	スギ・ヒノキ	31 ~ 47	30	5.35	0	1,724	【評価調書①】
	2		粟野地区	1	粟野森林組合	スギ・ヒノキ	24 ~ 57	30	5.44	0	1,245	【評価調書②】
			粕尾地区	2								
	3		加園地区	1	(有)高見林業	スギ・ヒノキ	30 ~ 55	30	4.21	600	1,900	【評価調書③】
		粕尾地区	4									
小計								15.00	600	4,869		
県南環境森林事務所	1	栃木市	寺尾地区	1	みかも森林組合	スギ・ヒノキ	34 ~ 60	30	7.50	800	2,435	【評価調書④】
	1	佐野市	氷室地区	2	みかも森林組合	スギ・ヒノキ	33 ~ 58	30	9.72	1,210	3,433	
合計									32.22	2,610	10,737	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書①

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	上板荷生産森林組合	
箇所所在地	鹿沼市 板荷	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	31～47年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 5.35ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業による間伐により下層植生の回復を図るとともに、間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		間伐外 5.35ha (間伐・玉切り・搬出・運搬)			
	事業費	1,723,892円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
				【実施状況】 	
					
	【事業完了後】 			【積み込み状況】 	

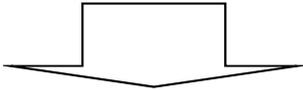
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書②

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栗野森林組合	
箇所所在地	鹿沼市 栗野・粕尾	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	24～57年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 5.44ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業による間伐により下層植生の回復を図るとともに、間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		間伐外 5.44ha (間伐・玉切り・搬出・運搬)			
	事業費	1,245,158円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【実施状況】		
					
	【事業完了後】		【搬出状況】		
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書③

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	(有)高見林業	
箇所所在地	鹿沼市 加園・粕尾	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	30～55年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 4.21ha 間伐外 4.21ha (間伐・玉切り・搬出・運搬) 利用促進路 600m	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業による間伐により下層植生の回復を図るとともに、間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
	事業費	1,899,802円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【実施状況】		
					
					
【事業完了後】		【運搬状況】			
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書④

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	みかも森林組合	
箇所所在地	栃木市 寺尾地区	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	34～60年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 7.50ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業による間伐により下層植生の回復を図るとともに、間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用間伐材の活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		間伐外 7.50ha (間伐・玉切り・搬出・運搬)			
	利用促進路 800m				
事業費	2,435,574円				
事業の 実施状況	【事業着手前】				
					
					
	【事業完了後】				
					
【実施状況】					
					
【利用促進路利用状況】					
					

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

1 有効性

(1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所13・整備面積42.18ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 101人	
1 里山林整備によって、周辺の風景と調和し美しい景観になったと思いますか。	「非常に美しい景観になった」57%、 「ある程度美しい景観になった」41%、「あまり変わらない」1%、 「整備しない方が良かった」0%、「わからない」1%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」53%、「ある程度しやすくなった」44%、 「あまり変わらない」1%、「しづらくなった」0%、「わからない」3%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」53%、「ある程度思う」44%、 「ほとんど思わない」0%、「全く思わない」0%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」65%、「良かった」32%、「どちらでもない」2%、 「良くなかった」0%、「わからない」1%

(2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	学校・保護者・事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所21・整備面積51.15ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 95人	
1 里山林整備によって、児童・生徒などの通学時の安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」44%、「ある程度向上した」46%、 「あまり向上しなかった」3%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」6%
2 里山林整備によって、住宅地周辺で生活する上で安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」41%、「ある程度向上した」52%、 「あまり向上しなかった」4%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」3%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」42%、「ある程度思う」48%、 「ほとんど思わない」4%、「全く思わない」1%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」55%、「良かった」39%、「どちらでもない」2%、 「良くなかった」0%、「わからない」3%

(3) 野生獣被害軽減のための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地の農地耕作者・自治会、全事業箇所(整備箇所57・整備面積302.00ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 405人	
1 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣の田畑、住宅地への出没が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」31%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」43%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」14%、 「まったく減らない(減りそうにない)」2%、「わからない」10%
2 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」29%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」45%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」14%、 「まったく減らない(減りそうにない)」2%、「わからない」10%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」52%、「ある程度思う」40%、 「ほとんど思わない」3%、「全く思わない」1%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」58%、「良かった」33%、「どちらでもない」5%、 「良くなかった」1%、「わからない」4%

(4) 生物多様性モデル林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所5・整備面積16.93ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 21人	
1 里山林整備によって、多様な生き物がすみやすい環境になったと思いますか。	「非常にそう思う」57%、 「ある程度そう思う」33%、 「ほとんど思わない」5%、 「整備しない方がよかった」5%、「わからない」0%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」67%、 「ある程度しやすくなった」29%、 「あまり変わらない」5%、 「しづらくなった」0%、「わからない」0%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」57%、「ある程度思う」38%、 「ほとんど思わない」5%、「全く思わない」0%、「わからない」0%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」62%、「良かった」33%、「どちらでもない」5%、 「良くなかった」0%、「わからない」0%

(5) 提案型里山林整備モデル整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所1・整備面積5.00ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 5人	
1 里山林整備によって、里山林の良さ(美しい景観、多様な動植物の生息・生育など)に気づききっかけになりましたか。	「非常にそう思う」60%、 「ある程度そう思う」40%、 「ほとんど思わない」0%、 「整備しない方がよかった」0%、「わからない」0%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」80%、 「ある程度しやすくなった」20%、 「あまり変わらない」0%、 「しづらくなった」0%、「わからない」0%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」20%、「ある程度思う」80%、 「ほとんど思わない」0%、「全く思わない」0%、「わからない」0%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って、里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」60%、「良かった」40%、「どちらでもない」0%、 「良くなかった」0%、「わからない」0%

※アンケート結果は、すべて単位未満を四捨五入しているため、個々の数値を合計しても100%にならない場合がある。

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	37	31,360 (58,376)	42.18	27,666 (55,126)	656
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	53	13,338 (27,402)	51.15	11,901 (25,745)	233
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	300	72,047 (145,572)	302.00	71,791 (141,549)	238
生物多様性モデル林整備 (d)	16	14,000 (14,650)	16.93	13,266 (13,916)	784
提案型里山林整備モデル(e)	5	3,000 (3,000)	5.00	2,000 (2,000)	400
里山林整備事業費合計(a+b+c+d+e)	411	133,745 (249,000)	417	126,624 (238,336)	303

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

〔効率性に関する比較検討〕 ※対象経費が大きく異なるため、(a)(d)(e)と(b)(c)を分けて比較

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県 (a)(d)(e)	670 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い ③樹木の植栽 ④歩道の整備 ⑤案内標識整備 【実施主体】 ・ 市町村
A県	980 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除間伐 ②下刈り ③樹木の植栽 ④歩道整備 ⑤標識設置 【実施主体】 ・ 市町村
栃木県 (b)(c)	237 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ 市町村
B県	262 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除伐 ②下刈り ③つる切り 【実施主体】 ・ 市町村
C県	309 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除伐 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ NPO・ボランティア団体等

3 進ちよく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進ちよく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	37	31,360 (58,376)	42.18	27,666 (55,126)	114.0	88.2
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	53	13,338 (27,402)	51.15	11,901 (25,745)	96.5	89.2
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	300	72,047 (145,572)	302.00	71,791 (141,549)	100.7	99.6
生物多様性モデル林整備 (d)	16	14,000 (14,650)	16.93	13,266 (13,916)	105.8	94.8
提案型里山林整備モデル(e)	5	3,000 (3,000)	5.00	2,000 (2,000)	100.0	66.7
里山林整備事業費合計 (a+b+c+d+e)	411	133,745 (249,000)	417	126,624 (238,336)	101.5	94.7

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

平成24年度里山林整備事業一覧

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
1	鹿沼市茂呂	H25.2.25～H25.3.22	将来まで守り育てる	不要木の除去等	鹿沼市	3.90	1,795	460	
2	日光市大沢町	H24.12.20～H25.2.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	日光市	3.00	2,000	667	【抽出箇所①】
3	宇都宮市宮山田町	H24.11.13～H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	宇都宮市	4.00	3,000	750	
4	真岡市古山	H24.11.1～H25.2.27	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	ふれあいの森古山	6.60	1,774	269	
5	市貝町市塙	H25.1.25～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	市貝町	1.77	966	546	
6	那珂川町盛泉	H25.1.4～H25.3.14	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	6.20	1,743	281	【抽出箇所②】
7	栃木市平井町	H25.1.30～H25.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	2.00	2,000	1,000	
8	佐野市関川町	H24.12.25～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	佐野市	3.00	2,741	914	
9	小山市向野	H24.11.27～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	小山市	0.72	720	1,000	
10	小山市喜沢	H24.11.27～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	小山市	1.83	1,830	1,000	
11	小山市西黒田	H24.11.27～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	小山市	1.45	1,450	1,000	
12	壬生町上稲葉	H24.12.5～H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	壬生町	5.85	5,846	999	
13	高根沢町宝積寺	H24.8.1～H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備等	高根沢町	1.86	1,801	968	
14	日光市芹沼	H24.12.17～H25.2.1	通学路等の安全・安心確保	不要木の伐採、やぶの刈り払い	日光市	1.00	250	250	
15	日光市小代	H24.11.24～H25.1.31	〃	不要木の伐採、やぶの刈り払い	日光市	3.50	875	250	
16	日光市足尾町	H24.11.1～H24.12.20	〃	不要木の伐採、やぶの刈り払い	日光市	1.80	450	250	
17	日光市荊沢	H24.8.17～H24.9.28	〃	不要木の伐採、やぶの刈り払い	日光市	2.40	600	250	
18	日光市南小来川	H25.1.21～H25.3.8	〃	不要木の伐採、やぶの刈り払い	日光市	5.30	1,325	250	
19	那須塩原市百村1	H25.3.9～H25.3.28	〃	不要木の伐採、やぶの刈り払い	那須塩原市	2.00	403	201	
20	那須塩原市百村2	H25.3.9～H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	4.58	933	204	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
21	那須塩原市木綿畑	H25.3.9~H25.3.28	通学路等の安全・安心確保	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	2.16	435	202	
22	那須烏山市神長	H25.1.28~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	7.80	1,950	250	【抽出箇所③】
23	那須烏山市愛宕台	H25.1.28~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	1.00	250	250	
24	那須烏山市三箇	H25.1.28~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	3.45	700	203	
25	那須町寄居	H25.2.20~H25.3.25	〃	やぶの刈払い	那須町	2.60	497	191	
26	那須町豊原乙	H25.2.20~H25.3.25	〃	やぶの刈払い	那須町	1.70	404	238	
27	那珂川町三輪	H25.1.4~H25.3.14	〃	やぶの刈払い	那珂川町	1.80	329	183	
28	栃木市藤岡町	H25.2.25~H25.3.8	〃	やぶの刈払い	栃木市	1.00	237	237	
29	小山市向野	H24.11.27~H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	小山市	2.00	500	250	【抽出箇所④】
30	野木町佐川野	H25.1.25~H25.3.15	〃	不要木の伐採・やぶの刈払い	野木町	2.55	637	250	
31	野木町南赤塚	H25.1.25~H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	野木町	4.09	1,022	250	
32	野木町川田	H25.1.25~H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	野木町	0.18	45	250	
33	野木町友沼	H25.1.25~H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	野木町	0.09	22	244	
34	矢板市片岡	H24.11.21~H25.1.17	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.15	38	250	
35	鹿沼市久野	H24.12.28~H25.3.20	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	久野自治会	11.04	2,760	250	
36	鹿沼市深程	H24.12.20~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	深程自治会	6.95	1,738	250	
37	鹿沼市口栗野	H25.1.18~H25.2.26	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	口栗野四区自治会	1.00	250	250	
38	鹿沼市釜場	H25.2.25~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	入栗野自治会	3.01	753	250	
39	日光市猪倉(上猪倉)	H24.11.26~H25.1.31	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	3.50	875	250	
40	日光市猪倉(中猪倉)	H24.8.20~H24.9.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	3.60	900	250	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
41	日光市猪倉(下猪倉)	H25.2.1～H25.3.8	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	5.20	1,300	250	【抽出箇所⑤】
42	日光市所野	H24.8.20～H24.9.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	4.00	1,000	250	
43	日光市長畑	H24.8.20～H24.9.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	5.00	1,250	208	
44	日光市川俣	H24.7.5～H24.10.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	1.00	250	40	
45	日光市小百	H24.12.20～H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	5.30	1,325	250	
46	日光市荊沢	H25.2.1～H25.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	6.00	1,500	250	
47	日光市和泉	H25.1.15～H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	2.50	625	250	
48	日光市土呂部	H24.12.3～H25.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	2.30	575	250	
49	日光市南小来川	H25.2.1～H25.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	4.00	1,000	250	
50	日光市足尾町	H24.11.1～H24.12.20	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	2.00	500	250	
51	日光市湯西川	H24.11.1～H25.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	6.60	1,650	250	
52	日光市野門	H24.9.28～H24.11.21	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	4.00	1,000	250	
53	宇都宮市徳次郎町	H24.12.4～H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	宇都宮市	4.10	1,060	259	
54	真岡市南高岡	H25.1.17～H25.2.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	真岡市	4.00	1,010	253	
55	真岡市青谷	H25.1.17～H25.2.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	真岡市	3.00	738	246	
56	益子町前沢	H24.10.22～H24.12.7	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	6.00	1,427	238	
57	益子町小泉	H24.11.9～H24.12.21	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	13.00	2,362	182	
58	益子町上大羽	H24.12.5～H25.2.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	9.00	2,153	239	
59	益子町益子	H24.12.10～H24.12.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	3.30	809	245	
60	茂木町九石	H24.7.31～H25.3.14	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	九石里山保存会	0.70	175	250	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
61	茂木町深沢1	H24.8.2~H24.10.3	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	深沢上地区	2.50	625	250	
62	茂木町深沢2	H24.9.12~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	2.00	375	188	
63	茂木町深沢3	H24.9.12~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	3.00	625	208	
64	茂木町竹原	H24.8.30~H25.3.26	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	竹原里山保存会	1.70	425	250	
65	茂木町所草	H24.7.30~H25.3.19	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	所草里山保存会	0.80	200	250	
66	茂木町牧野	H24.9.12~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	20.00	4,102	205	
67	茂木町山内	H24.9.12~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	3.00	625	208	
68	茂木町河井	H24.9.12~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	4.00	775	194	
69	芳賀町大字稲毛田	H24.12.1~H25.3.6	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	芳賀町	23.00	5,303	231	
70	大田原市須佐木	H24.10.2~H25.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	15.00	3,750	250	
71	那須塩原市嶋内	H25.3.9~H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	2.52	612	243	
72	那須塩原市百村	H25.3.9~H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	1.90	383	201	
73	那須塩原市木綿畑	H25.3.9~H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	1.59	321	202	
74	那須烏山市下境	H25.1.28~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	9.30	2,325	250	
75	那須烏山市曲田	H25.1.28~H25.3.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	4.34	1,085	250	
76	那珂川町健武	H25.1.4~H25.3.14	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	10.00	2,331	233	
77	足利市本城一丁目	H25.3.11~H25.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	18.00	4,500	250	
78	足利市五十部町	H24.12.7~H25.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	5.00	1,250	250	
79	足利市粟谷町	H25.2.14~H25.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	粟谷南西部里山林整備組合	14.00	3,480	249	
80	足利市名草下町	H25.1.21~H25.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	4.00	1,000	250	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
81	栃木市小野口町(打越)	H24.10.15~H24.10.31	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	4.00	1,006	251	【抽出箇所⑥】
82	栃木市小野口町(堤崎)	H25.3.4~H25.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	3.00	765	255	
83	栃木市西方町	H25.1.10~H25.2.19	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	5.35	1,239	232	
84	佐野市閑馬町	H24.10.21~H24.12.9	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	閑馬上区里山を守る会	3.10	775	250	
85	佐野市長谷場	H25.2.24~H25.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	長谷場町炭谷地区獣害対策会	1.50	375	250	
86	佐野市下秋山	H24.10.29~H24.12.27	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	7.70	1,885	245	
87	佐野市赤見町	H25.3.3	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	駒場町会	1.50	375	250	
88	佐野市仙波町	H25.1.25~H25.2.5	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	仙波地区むらづくり推進委員会	2.10	525	250	
89	矢板市立足1	H24.11.26~H25.2.20	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.40	100	250	
90	矢板市立足2	H24.11.26~H25.2.20	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.60	400	250	
91	塩谷町玉生	H25.3.4~H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	塩谷町	6.00	1,273	212	
92	真岡市伊勢崎	H24.10.30~H25.2.28	生物多様性モデル	不要木の除去・やぶの刈払い	ふれあいの森伊勢崎	4.60	3,266	710	【抽出箇所⑦】
93	市貝町田野辺	H25.2.1~H25.3.19	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・生物調査	市貝町	1.00	1,000	1,000	
94	市貝町多田羅	H25.2.1~H25.3.19	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・生物調査	市貝町	1.33	1,000	752	
95	那珂川町小砂	H24.12.7~H25.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備等	小砂陶芸の里体験センター組合	5.00	4,000	800	
96	足利市名草下町	H25.1.21~H25.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・標識設置	足利市	5.00	4,000	800	【抽出箇所⑧】
97	那珂川町小砂	H24.12.6~H25.2.28	提案型里山林整備モデル	不要木の除去・やぶの刈払い・池新設等	那珂川町林業振興会	5.00	2,000	400	【抽出箇所⑨】
県 合 計 (a)						417.26	126,624	303	

事業計画 (b)						391.0	112,745	288	
進捗度 (a) / (b) %						106.7%	112.3%		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)	事業主体	日光市
所在地	日光市大沢町		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い 歩道整備	事業の 必要性 「高知山」として知られ、眺望も良く、古くから地域住民の愛着も深い森林であり、自然や歴史に触れることができる里山林として、将来まで守り育てるため、整備する必要がある。
	整備面積	3.00ha	
	事業費	2,000,000円	
事業の 実施状況			
	【事業着手前】		
			
	【事業完了後】		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	那珂川町
所在地	那珂川町盛泉		事業の 必要性	地域一帯は「なごみの里」として整備されたが、手入れは入口や施設周辺のみに限られており、林内はほとんど手入れされていないため、竹類や灌木が生い茂り、来訪者が利用できない状況であった。里山の優れた景観を復活させ、快適な利用を促すため、県民税を導入し、既設遊歩道周辺を中心に森林の整備を行なう必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い		
	整備面積	6.20ha		
	事業費	1,743,000円		
事業の 実施状況				【事業着手前】
				【事業完了後】

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅地周辺の安全・安心確保のための里山林整備)		事業主体	那須烏山市
所在地	那須烏山市神長		事業の 必要性	烏山小学校・烏山中学校の通学路であるが、道路周辺が山で囲まれている箇所である。やぶが生い茂り暗く、倒木等の恐れが多い状況である。税事業を導入し、やぶの刈払い・不要木の除去を行い、安全で安心な通学路を確保する必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い		
	整備面積	7.80ha		
	事業費	1,950,000円		
事業の実施状況	<div data-bbox="379 853 1098 1379" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1193 1099 1369 1133">【事業着手前】</p> <div data-bbox="616 1487 1326 2007" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="376 1715 552 1749">【事業完了後】</p>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 <small>(通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備事業)</small>	事業主体	小山市
所在地	小山市向野		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い	事業の 必要性 子ども達や周辺住民等の安全を確保するため、通学路や住宅地周辺にある暗くうっそうとした里山林を整備する必要がある。
	整備面積	2.00ha	
	事業費	500,000円	
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)	事業主体	日光市
所在地	日光市猪倉(下猪倉)		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い	事業の必要性 イノシシによる農作物被害が発生している農地周辺の森林であり、イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯としてやぶを刈り払う必要がある。
	整備面積	5.20ha	
	事業費	1,300,000円	
事業の実施状況			
	【事業完了後】		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑥】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	栃木市
所在地	栃木市小野口町(打越)		事業の 必要性	イノシシによる農作物被害が発生している農地周辺の森林であり、イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯として藪を刈り払う必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い		
	整備面積	4.0ha		
	事業費	1,005,825円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑦】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (生物多様性モデル林整備事業)	事業主体	ふれあいの森 伊勢崎
所在地	真岡市伊勢崎		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い	事業の 必要性 本地区は、北関東自動車道の整備などが行われた後に残された貴重な平地林であり、実施区域は北関東自動車道の南西に位置している。かつて生息が確認されたオオムラサキを始めとした、多様な生物の生息環境を取り戻すため、里山林整備が必要である。
	整備面積	4.6ha	
	事業費	3,266,000円	
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div> <p>【平成24年度生態調査実施状況】 ・平成25年度に落ち葉プールを作り、その後カブトムシの幼虫を調査する予定</p>		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑧】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (生物多様性モデル林整備事業)	事業主体	足利市
所在地	足利市名草下町		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い 解説板の設置	事業の 必要性 地域のシンボル種として保全活動が行われているホタルの生息地周辺の里山が荒廃し、シンボル種の生息地である河川周辺の環境悪化が問題となっている。シンボル種の生息環境や生物多様性環境の保全のため、やぶを刈り払う等の整備を進める必要がある。
	整備面積	5.00ha	
	事業費	4,000,000円	
事業の実施状況			
	【事業着手前】		
			
【事業完了後】			
【平成24年度生態調査実施状況】 ・ゲンジボタルの卵群数、カワニナの生息密度、ホタル幼虫/成虫の生息密度を調査			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑨】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 <small>(提案型里山林整備モデル事業)</small>		事業主体	那珂川町 林業振興会
所在地	那珂川町小砂		事業の 必要性	棚田の上流にあるコナラを中心にした里山林で、近くのため池にヒシが生育している。池に流れ込む小川にはゲンジボタルやモートンイトンボなどが見られる。税事業を導入し、森林整備だけでなく、池を新設して水辺環境の拡大を図り、ホタルやイトンボにスポットをあてた整備を実施し、地域資源をいかした自然とふれあえる空間を創出する必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い 池の新設		
	整備面積	5.00ha		
	事業費	2,000,000円		
事業の 実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div> <p>【事業の波及効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動団体の会員数の増加、他地域での里山林整備の実施などの波及効果が見られた。 			

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

1 有効性

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 木製学習用机・いす配布校 56校の教諭 56名(配布校各1名) 【実施時期】 平成25年5～6月	
【調査結果】 アンケート対象 56人	
1 今回配布した木製学習用机・いすの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、児童・生徒に説明されましたか。	「はい」98%、「いいえ」2%(※) (※)東日本大震災により、現在、校舎の建て替えを行っているが、机・椅子は新校舎に移る2学期から使い始めることを予定しており、その際、すみやかに説明を行う旨の回答を得ています。
2 前に使っていたスチール製の机やいすと比べてどうですか。	「木製の方がよい」18%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」36%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」27%、 「スチール製の方がよい」5%、 「どちらでも変わらない」5%、 その他9%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切なことを知っていましたか。	「知っていた」86%、「知らなかった」14%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」66%、「まあまあそう思う」34%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、学校にこの机やいすが整備されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」39%、「よかった」43%、 「どちらでもない」16%、「よくなかった」2%

(2) 木製ベンチ配布事業

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 木製ベンチ配布先:26事業者等 26名(配布先各1名以上) 【実施時期】 平成25年5～6月	
【調査結果】 アンケート対象 26人	
1 今回配布した木製ベンチの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、何らか(パンフレットの設置・配布など)の普及活動を行いましたか。	「はい」100%、「いいえ」0%
2 一般的なスチール製やプラスチック製(以下スチール製)のベンチと比べてどうですか。	「木製の方がよい」69%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」27%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」4%、 「スチール製の方がよい」0%、 「どちらでも変わらない」0%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切なことを知っていましたか。	「知っていた」92%、「知らなかった」8%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」81%、「まあまあそう思う」19%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、あなたの事業所等に木製ベンチが配布されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」77%、「よかった」19%、 「どちらでもない」4%、「よくなかった」0%

2 効率性

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
49,781	1,800	27,656	前年度との比較 平成23年度事業実績:26,630円/セット

(2) 木製ベンチ配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (基) B	1セット当たりの事業費 (円/基) A/B	比較対照
7,485	500	14,970	前年度との比較 平成23年度事業実績:16,076円/基

※参考(他県の実施状況)

他県最小値 30,000円/基(A県、仕様:L=1.5m、塗装品、丸太を半割し、背もたれの無いデザイン)

他県最大値 100,000円/基(B県、仕様:L=1.6~1.8m、塗装品、板材で構成され、背もたれのあるデザイン)

本県 14,970円/基(栃木県、仕様:L=1.3m、無塗装、角材を組み合わせ、背もたれの無いデザイン)

3 進捗よく度

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
1,800	1,800	100

(2) 木製ベンチ配布事業

計画 (セット) A	実績 (基) B	B/A (%)
500	500	100

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	「とちぎの森づくり」ホームページの平成25年3月末における登録者 251名 (ホームページに情報を掲載できる者)及びホームページ閲覧者等
【実施時期】	平成25年6月
【調査結果】 アンケート対象 108人	
1 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループは活動しやすくなりましたか。	「非常に活動しやすくなった」18%、 「活動しやすくなった」45%、 「どちらでもない」37%、「活動しにくくなった」0%
2 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループに役立っていますか。	「大いに役立つ」24%、「ある程度役立つ」50%、 「どちらとも言えない」22%、「あまり役立たない」4%
3 これからも森づくり活動に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」33%、 「これまでと同じように取り組みたい」60%、 「あまり取り組みたくない」1%、「取り組まない」0%、 「わからない」6%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このようなホームページができてよかったと思いますか。	「とても良かった」35%、「良かった」50%、 「どちらでもない」13%、「良くなかった」2%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	アクセス件数 (件/年) B	1アクセス当たりの事業費 (円/アクセス) A/B	比較対照
9,056	17,510	517	他県との比較 A県:7,137千円、2,825件、2,526円/アクセス

3 進捗よく度

区分	計画 (人) A	実績 (人) B	B/A (%)	備考
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	250	251	100	H25.3末現在までの登録者数

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

1 有効性

<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」 参加者全員 440名(延べ参加者数) 【実施時期】 各講座終了時</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 264人</p>	
1 講座の内容や体験は、理解できましたか。	「理解できた」69%、「ある程度理解できた」30%、 「理解できなかった」1%、「どちらとも言えない」0%
2 この講座により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」57%、「ある程度理解が深まった」42%、 「あまり理解が深まらなかった」0%、 「これまでとほとんど変わらない」1%
3 この講座は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」65%、「ある程度役立つ」33%、 「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」2%
4 今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動等に取り組みたいですと思いませんか。	「これまで以上に取り組みたい」37%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」61%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、 「わからない」2%
5 とちぎの元気な森づくり県民税により、この講座が行われてよかったと思いませんか。	「とてもよかった」60%、「よかった」37%、 「よくなかった」0%、「どちらでもない」3%
<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者 75名 【実施時期】 指導者研修終了時及び平成25年3月</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 75人</p>	
1 この事業により、あなたの団体(学校)は森林環境学習に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取組やすくなった」35%、 「取組みやすくなった」63%、「取組みにくくなった」1%、 「どちらとも言えない」0%、無回答1%
2 この取組は、(参加した)子どもたちにとって、役立ちそうですか。	「大いに役立つ」57%、「ある程度役立つ」43%、 「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」0%、無回答0%
3 今後も、森林環境学習に取り組みたいですと思いませんか。	「これまで以上に取り組みたい」46%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」53%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、 「わからない」0%、無回答1%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われてよかったと思いませんか。	「とても良かった」60%、「良かった」34%、 「どちらでもない」5%、「良くなかった」0%、無回答1%
<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者 70名 【実施時期】 森の子サミット終了時</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 70人</p>	
1 今日のイベントに参加した感想はいかがでしたか。	「とても楽しかった」84%、「まあまあ楽しかった」11%、 「どちらでもない」3%、「面白くなかった」1%
2 このイベントに参加して、森林について理解できましたか。	「とても理解できた」59%、「ある程度理解できた」29%、 「あまり理解できなかった」6%、 「これまでと殆ど変わらない」2%、無回答1%
3 このようなイベントに、今後も参加したいと思いませんか。	「ぜひ参加したい」74%、「どちらかといえば参加したい」11%、 「あまり参加しないと思う」1%、「参加しない」2%、 「わからない」7%、無回答3%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このイベントが行われてよかったと思いませんか。	「とても良かった」67%、「良かった」26%、 「どちらでもない」1%、「良くなかった」1%、無回答4%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比 較 対 照
9,772	5,210	1,876	他県との比較 A県:9,088千円、2,034人、4,468円/人

3 進ちょく度

区 分	計画 (回・団体) A	実績 (回・団体) B	B/A (%)
開催回数 (回)	20	20	100
助成団体数 (団体)	20	20	100

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

1 有効性

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校58校のうち5校の児童 165名(配布数1,300セットの1割以上) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成25年3～4月	
【調査結果】 アンケート対象 165人	
1 今回までに、木工工作をしたことがありますか。	「今回が初めて」9%、「1～2回ある」57%、「何回もある」34%
2 今回の木工工作はどうでしたか。	「とても楽しかった」75%、「まあまあ楽しかった」21%、「どちらでもない」4%、「楽しなかった」0%
3 工作の材料である「木」について、どのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」15%、「やわらかい感じ」13%、「色や木目がきれい」37%、「よい香り」32%、「何も感じない」2%
4 ほかにも木を使って工作したり、木でできたもの(机やイスなど)を使いたいと思いますか。	「とてもそう思う」64%、「どちらかといえばそう思う」28%、「どちらでもない」7%、「あまり思わない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」70%、「よかった」26%、「どちらでもない」4%、「よくなかった」2%
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校58校すべての学校の教諭 58名(配布校各1名) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成25年3～4月	
【調査結果】 アンケート対象 61人	
1 今回のような木工工作学習の取組について、先生のこれまでの御経験を教えて下さい。	「今回が初めて」64%、「数回ある」34%、「何回もある」2%
2 工作の材料である「木」について、先生自身はどのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」26%、「やわらかい感じ」24%、「色や木目がきれい」25%、「よい香り」25%、「何も感じない」0%
3 今回の工作学習を実施して、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じますか。	「非常に深まった」36%、「ある程度深まった」64%、「あまり深まらなかった」0%、「これまでとほとんど変わらない」0%
4 今回のような木工工作学習を、今後も実施したいと思いますか。	「ぜひ実施したい」74%、「どちらかといえば実施したい」26%、「あまり実施しないと思う」0%、「実施しない」0%、「わからない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」78%、「よかった」22%、「どちらでもない」0%、「よくなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
1,352	1,300	1,040	前年度との比較 平成23年度事業実績:1,050円/セット

3 進ちょく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)	備考
1,300	1,300	100	○配布工作教材1,300セットの内訳: 貯金箱(247)、本立て(653)、飾り棚(139)、 小物入れ(81)、プランター(130)、小箱(50)

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	開催回数 (回) B	1回当たりの事業費 (千円/回) A/B	比 較 対 照
677	7回 (うち現地調査1回)	97	他県との比較 A県:542千円、2回、271千円/回

※事業費、開催回数ともに、「とちぎの元気な森づくり見直し検討会」も含む。

【参考】

平成25年度予算 とちぎの元気な森づくり県民税事業 評価対応表

事業名	評価委員会評価	対応状況
とちぎの元気な森づくり県民広報事業	○インターネットを活用するなど、より効果的な方法の検討	○ホームページ「とちぎの森づくり」をより見やすくしたり、メールマガジン機能、フェイスブック機能を追加する予算を計上

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

1 有効性

アンケート調査の概要	※平成24年度県政世論調査と同一の質問項目で実施	
【対象及び実施数】	県内各種イベント来場者 のべ596名	
【実施時期】	①県植樹祭(6月2日)、②県民の日イベント(6月15日)、 ③エコもりフェア(10月6日、7日)	
【調査結果】	アンケート対象	596人
1 平成20年4月から本県で導入している『とちぎの元気な森づくり県民税』いわゆる森林環境税について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。		「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」21.6% 「名称も税額も知っており、かつ税の使い道もある程度知っている」14.9% 「名称と税額のみ知っている」10.9% 「名称は知っているが、税額は知らない」26.0% 「名称も税額も知らない」25.8% 「無効回答」0.7%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	納税義務者数 (千人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比較対照
5,746	975	5.9	他県との比較 A県:8,711千円、574千人、15.2円/人

3 進捗よく度

計画 (回) A	実績 (回) B	B/A (%)
・パンフレット作成 60,000部	・パンフレット作成 65,000部	108
・テレビ、ラジオ 102回	・テレビ、ラジオ 102回	100
・-	・新聞広告 1回	100
・税事業実施箇所バスツアー 4回	・税事業実施箇所バスツアー 4回	100

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 17市町
【実施時期】	平成25年4月
【調査結果】 アンケート対象 17市町	
1 この事業はあなたの市町の森づくり行政や森林環境教育行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」44%、「役立った」56%、「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は森づくりや環境森林教育に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」28%、「取り組みやすくなった」72%、「これまでと変わらない」0%、「どちらでもない」0%
3 この事業を実施して団体や県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」39%、「好評であった」61%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」39%、「活用する」61%、「活用しない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」56%、「良かった」44%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	実施団体数 (団体) B	1団体当たりの事業費 (千円/団体) A/B	比較対照
11,422	50	228	他県との比較 A県: 18,387千円、64団体、287千円/団体

3 進捗よく度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
18	17	94

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 18市町(施設整備4、間伐材有効利用3、木の良さ普及啓発17)
【実施時期】	平成25年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 18市町	
1 この事業はあなたの市町における環境森林行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」58%、「役立った」42%、 「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は木の良さ普及啓発に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」42%、 「取り組みやすくなった」42%、 「これまでと変わらない」11%、「どちらでもない」5%
3 この事業により実施(支援)したことによる市町民等の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」53%、「好評であった」47%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用したいと思いますか。(木の良さ普及啓発事業)	「大いに活用したい」63%、「活用したい」37%、 「活用したくない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」63%、「良かった」37%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

施設整備事業 ()書きは間伐材有効利用を含んだもの	事業費決算額 (千円) A	県産材使用量 (m ³) B	1m ³ 当たりの事業費 (千円/m ³) A/B	比較対照
	27,500 (28,992)	33.2 (59.9)	828 (484)	前年度との比較 平成23年度事業実績:814(465)千円/m ³
木の良さ普及啓発事業	事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
	4,244	5,991	0.7	前年度との比較 平成23年度事業実績:0.8千円/人

3 進捗よく度

区分	計画 (施設・回) A	実績 (施設・回) B	B/A (%)	備考
施設整備事業等 (施設)	7	7	100	施設数4、間伐材利用3
木の良さ普及啓発事業 (回)	143	142	99.3	イベント等実施回数(※) (※)予定人数に達したための回数減

【森を育む人づくり】

11. 特色ある緑豊かな地域推進事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】 森づくり活動参加者 111名	
【実施時期】 随時	
【調査結果】 アンケート対象 111人	
1	今回の活動により、森づくりについて理解が深まりましたか。 「非常に深まった」68%、「ある程度理解が深まった」30%、「あまり理解が深まらなかった」1%、「これまでとほとんど変わらない」1%
2	今後も森づくり活動等に取り組みたいと思いますか。 「これまで以上に取り組みたい」60%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」39%、「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、「わからない」1%
3	今回の活動は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して行っています。これらの活動が「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと思いますか。 「とてもよかった」67%、「よかった」31%、「よくなかった」0%、「どちらでもない」2%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
1,200	277	4.3	他県との比較 A県: 9,496千円、1,606人、5.9千円/人

3 進捗よく度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
2	2	100

とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施状況(平成20年度～平成24年度)

事業名／事業内容		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	累 計 A
元 気 な 森 づ く り	1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業						
	間伐面積	計画 2,050ha	2,627ha	2,827ha	2,380ha	2,367ha	12,521ha
		実績 2,078ha	2,663ha	3,302ha	2,424ha	2,434ha	12,901ha
	獣害対策面積	計画 —	357ha	240ha	200ha	200ha	997ha
		実績 —	357ha	320ha	200ha	200ha	1,077ha
	森林バイオマス利用モデル面積	計画 —	—	36ha	36ha	45ha	117ha
		実績 —	—	37ha	39ha	32ha	108ha
	2 明るく安全な里山林整備事業						
	整備面積	計画 780ha	664ha	579ha	472ha	411ha	2,906ha
		実績 533ha	700ha	638ha	478ha	417ha	2,766ha
森 を 育 む 人 づ く り	3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業						
	木製学習用机・椅子配布数	計画 1,800セット	2,000セット	2,000セット	1,800セット	1,800セット	9,400セット
		実績 1,800セット	2,000セット	2,000セット	1,800セット	1,800セット	9,400セット
	木製ベンチ配布数	計画 —	—	500基	500基	500基	1,500基
		実績 —	—	500基	500基	500基	1,500基
	4 とちぎ森づくり情報センター事業						
	「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	計画 30人	100人	150人	200人	250人	730人
		実績 28人	56人	113人	201人	251人	649人
	5 とちぎ「森の楽校」事業(※1)						
	開催回数	計画 16回	16回	20回	20回	20回	92回
		実績 16回	16回	20回	20回	20回	92回
	助成団体数	計画 24団体	23団体	20団体	20団体	20団体	107団体
		実績 24団体	23団体	21団体	20団体	20団体	108団体
	6 とちぎの元気な森づくり県民会議事業						
	木工工作教材配布数	計画 1,000セット	1,000セット	1,300セット	1,300セット	1,300セット	5,900セット
		実績 1,076セット	1,000セット	1,300セット	1,300セット	1,300セット	5,976セット
	7 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業						
	開催回数	計画 5回	4回	4回	4回	3回	20回
		実績 5回	4回	4回	4回	2回	19回
	8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業						
	パンフレット作成数	計画 50,000部	43,000部	60,000部	60,000部	60,000部	273,000部
		実績 50,000部	43,000部	58,000部	65,000部	65,000部	281,000部
テレビ、ラジオCM放送回数	計画 288回	180回	206回	102回	102回	878回	
	実績 288回	188回	206回	102回	102回	886回	
9 森づくり活動地域支援事業(※2)							
実施市町数	計画 12市町	16市町	19市町	17市町	18市町	82市町	
	実績 8市町	16市町	19市町	17市町	17市町	77市町	
10 木の香る環境づくり支援事業							
施設等整備数	計画 5施設	12施設	8施設	9施設	7施設	41施設	
	実績 5施設	12施設	8施設	9施設	7施設	41施設	
イベント実施回数	計画 66回	64回	111回	103回	143回	487回	
	実績 67回	64回	111回	103回	142回	487回	
11 特色ある緑豊かな地域推進事業							
実施市町数	計画 —	5市町	3市町	2市町	2市町	12市町	
	実績 —	5市町	3市町	2市町	2市町	12市町	

※1 H22年度に「森林環境学習推進事業」を吸収。20年度と21年度の助成団体数は、「森林環境学習推進事業」の計画と実績を記載。

※2 H22年度に「みんなの元気な森づくり支援事業」と「森林環境学習支援事業」を統合し、事業名を変更。20年度と21年度の実施市町数は、「みんなの元気な森づくり支援事業」の計画と実績を記載。

● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見

1 奥山林整備事業

- 獣害対策については本県に適した対策を引き続き実施していくこととし、実施にあたっては一層効率的かつ効果的な手法を検討すること。

2 里山林整備事業

- 生物多様性モデル林整備実施箇所における生態調査の結果について、調査終了後報告書へ記載することを検討すること。

3 元気な森を育む木の良さ普及事業

- 学習用机・椅子の配布は子どもたちが身近で使うものであり、木材利用に関する周知効果は大きい。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(五十音順 敬称略)

No.	氏 名	所 属	備 考
1	江連 比出市	栃木県森林組合連合会代表理事会長	
2	大久保 達弘	宇都宮大学農学部教授	委員長職務代理
3	小野 ナツ	栃木県地域婦人連絡協議会会長	
4	五 家 正	株式会社とちぎテレビ常務取締役	
5	古口 達也	茂木町長	
6	児玉 博昭	白鷗大学法学部教授	委員長
7	齋藤 正	林業者	
8	荘司 円香	弁護士	
9	須田 大和	公募委員	
10	関谷 秀明	2000年記念の森の会運営委員長	
11	沼尾 源一	公募委員	
12	藤生 明男	栃木県中小企業団体中央会専務理事	

(任期：平成25年6月1日～平成27年5月31日)